

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：鶏の飼養管理技術の改善

小課題名：規格卵生産のための飼養管理技術の確立

細目課題名：

担当者名：奥田美杉

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	4年間の研究期間のなかで概ね計画どおり研究され目標も達成されている。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	生産者にとっても有用な成果が得られているが、今後は成果の普及が課題である。
3 研究の発展性	4 / 5	研究手法がある程度確立されており、今後の研究にも応用できる。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	卵の安定的生産の研究であり課題選定は妥当である。
総合評価	5 / 5	有用な研究成果が得られているが、今後はどのように生産者に向けた普及活動を行っていくかが課題である。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

農家での要望の高い飼育技術であり、飼料費の削減効果も期待できるので、畜産普及科と連携しながら農家の実情に合わせた指導を行って普及に努めていきたいと考えています。

山梨県畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：未利用資源の飼料化技術

小課題名：未利用素材の鶏飼料化技術の開発

細目課題名：

担当者名：松下浩一

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	パン屑、豆腐粕、きな粉等の利用方法が把握できたことで今後の利用方法の目安となる。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	今後、期待される未利用素材の量、質、収集方法の把握と飼料化に向け農家での実用検証が必要である。
3 研究の発展性	4 / 5	未利用資源の活用は、飼料の国内生産を含め、自給率向上のためさらに進める必要がある。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	未利用資源の活用、自給率の向上等時代に適応した課題であり妥当である。他業種との情報交換を上でさらに研究を進めて欲しい。
総合評価	4 / 5	未利用資源の利用は今後不可欠であり実用化に向けた取り組みが期待される。単味残さだけでなく残さの複合利用と混合割合を上げていくことも検討してほしい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

未利用資源の利用は今後とも畜産を推進するうえで必要不可欠と考えます。今後は、さらに新しい未利用資源の発掘と農家での利用に向けた実証試験等の取り組みを行っていきたいと考えます。